

情

報ネットトラブル防止教室が11月21日(水)、日田署生活安全課の中島万葉巡査を講師にお招きして実施されました。スマホでLINEやTwitterを利用し、YouTubeで動画を見て、暇な時間をゲームアプリで過ごす。物心ついた頃からスマホが身近にあった生徒たちは、ネットトラブルへの関心が強く、どの講演会よりも真剣な表情で聴いていたように見えました。自分たちが事件に巻き込まれること、サイバー犯罪の被害者や加害者にもなる危険性をはらんでいることなどを、多くの事例を紹介してもらって知ることができました。「リアルマネートレード」「チート行為」など、職員が知らない言葉を講師以上に知識豊富な生徒が説明する場面もありました。ネットトラブル対応の難しさを感じた有意義な研修となりました。



食

事や食物に関する知識と選択力を身につけて、健全な食生活が送れるようにすることを目的に、11月22日(木)、食育講演会を実施しました。日田市福祉保健部健康保険課健康支援係の管理栄養士である梶原春香先生を講師にお迎えして、「私たちに必要な栄養」というテーマでお話していただきました。パワーポイントを使っての説明に加え、普段飲むことが多い清涼飲料水について、糖度計を使って糖度測定をする実技も行いました。参加者一人ひとりが糖度計の接眼鏡をのぞき、100g中に含まれる糖質の量を確認しました。



最後に、1人1本ずつ野菜ジュースが配られ、栄養成分表示の見方についての説明があり、間食で気を付けることについて話してくださいました。生徒からは「紅茶の糖の多さに驚いた。」「普段から朝ごはんを食べないので、気をつけようと思った。」などの感想がありました。梶原先生、ありがとうございました。



大分県立日田高等学校定時制
平成30年度 第12号

学校だより

希望理想使命

2018年(平成30年)12月21日発行

生

徒役員選挙が12月12日(水)に行われました。今まで生徒会を引っ張ってくれた4年生が引退、新たな候補者による立候補演説は、緊張もあり遠慮がちでしたが、全員が信任されました。2、3年生が中心となる新生徒会、定時に新風を吹き込んでくれることを期待しています。



薬

物乱用防止教室が、12月14日(金)に開催されました。講師として学校薬剤師の伊東昭彦氏をお招きし、「健康は自分でつくり続けるもの」というテーマで講演をしていただきました。前半は、外国では所持しているだけで死刑になってしまうほど深刻な問題となっている危険薬物の怖さについて話してくださいました。危険薬物の特徴である『速成耐性』。これは薬を使用したらすぐに耐性ができてしまうことで、その後はより多くの量を摂取しないと効かなくなり、依存症を生じた状態に陥ってしまうのです。怖いですね。自分の意志ではどうにもならないそうです。特に最近では、女性をターゲットにした薬物への勧誘が横行しています。「痩せるよ」「肌がツヤツヤになるよ」といった甘い言葉には気をつけましょう。後半は「人間の体は生きるために動いている」という話。改めて「人間のカラダってすごいなあ…」と感じました。『自然治癒力を人間は持っている。薬は最低限の使用にしましょう』という先生の言葉がとても印象的でした。

